

「土葺き工法」と「現代工法」の違いについて

	土葺き工法	現代工法
工法の概略	<p>1.下地に杉皮を用い、縦に裂いた竹を釘で打ち付けて固定します。 2.その上に、棧瓦を葺く列ごとに十分な量の土を置いた後に棧瓦を葺きます。</p> 	<p>1.ルーフィング材の上に瓦棧を釘で打ちつけます。 2.棧瓦が1枚1枚、瓦棧に固定されます。</p> 
土の使い方	<p>1.瓦棧を用いないため、全ての瓦は土だけで固定する必要があり、土は列ごとに全ての場所につながっていなければならない、大量の土を必要とします。つながっていない場所の土は下にずれやすくなります。 2.現在土葺き工法を採用する場合は、竹の代わりに瓦棧を用いて、土のずれを防止する場合があります。(写真下)</p> 	<p>1.棧瓦と瓦棧の接点のみ、棧瓦を安定させる為に土を用います。</p> 